

2016年6月  
1101号

# 万葉

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5  
(一冊の会研究室)

*Manyo*

## インターナショナル・プレス・シンジケート・ジャパン (INPS Japan) ～浅霧勝浩理事長ご講演～

第51期櫻華塾6回目は、待ちに待ったインターナショナル・プレス・シンジケート・ジャパン (INPS Japan) 浅霧勝浩理事長の講演がありました。この日を心待ちにしていた方々も沢山おります。

6月19日、夏を先取りした様な暑さの中、尾崎行雄記念財団の応接室も熱気に包まれておりました。最初に、人権紙芝居 DVD 尾崎行雄上・下巻完成の紹介。若手メンバーの3人、山内さんから DVD 化についての説明、村岡さんから意気込みと苦労した点、赤田さんからこの DVD をどう発展させていくかを発表しました。

続いて、小山副会長から浅霧講師にプレゼントの贈呈。これまでの一冊の会の歩みを紹介する意味も含め、通称ブルーの本「1946.4.10」と「NO!DV」、人権紙芝居 DVD 尾崎行雄を贈りました。

次に、石田理事長から浅霧講師の紹介。浅霧講師は INPS Japan の理事長です。石田理事長のおかげで今回の講演が実現しました。石田理事長、本当にありがとうございます。



約1時間30分、たっぷりお話いただいた浅霧講師のご講演を抜粋してお伝えいたします。

総裁のジャウラ氏は2008年に日本政府の招聘でアフリカ開発会議 (TICAD IV) の取材に来日された際、相馬雪香先生とお話をされたそうです。教育が大事、と意見が一致し予定よりも時間をオーバーして話し込まれたその場が、正に今回講演をいただいているこの尾崎行雄記念財団の応接室でした。その感動を胸に刻みながら、一同、浅霧講師の講演を聴きました。INPS (インターナショナル・プレス・シンジケート) は、

共通の目的のために理念で結ばれた国際通信社。時には大国に冷遇されながらも屈することなく信念をもって報道するジャーナリストのみなさんが集まっています。お金も潤沢ではない、命の危険がある現場であっても取材して記事を書く。どうしてそこまでするのか。それは「声なき声を代弁する」という理念でジャーナリスト達が結ばれているからです。何のために書くのか、それは、お金でも名声のためでもなく、弱者の声を届けるため。ジャーナリストの中には、自らが苦しい体験をしながらも、その声を報道してもらえなかった悔しさを持つ仲間も多くいるそうです。それをバネに、大手メディアが決して取り上げない、目の前の「声なき声」を代弁することを使命とし、自らの身を顧みず記事を発信し続けているジャーナリ

ストの皆さん。その信念と行動力に心から感服いたしました。

また、国連の情報をどこよりも詳しく記載した「UN INSIDER」を INPS 国連総局から発行されているそうです。一冊の会とも国連を通して繋がっているご縁を感じ、嬉しく思いました。

講演の最後に、INPS で取材された記事を一部メンバーで輪読いたしました。耳を塞ぎたくなるような悲惨な犠牲者の声。でも今の自分の置かれた辛い環境に屈せず、「人間の尊厳を踏みにじる人身売買を根絶するためにはいつでもこの命を捧げる覚悟をもつ『Activist: 活動家』、あるいは人身売買の『生き残り』としての気概を持ってこの問題に取り組んでいくつもりです。」との強い意志を感じる言葉に胸がギュッと締め付けられるようでした。

浅霧講師の温かく、大変思いのこもった講演に大きな拍手がわき起こり、鳴り止みませんでした。お金や権力に屈することなく、意志を貫く報道姿勢。その姿は、尾崎行雄の精神そのものです。声なき声を代弁している INPS。形は違っても、一冊の会も苦しむ人々に心を寄せ、50年かけて世界中に友好の絆の輪を広げて参りました。石田理事長からのまとめのお話で、「INPS も尾崎も一冊の会も、みんな心が先にあって、人が集まっている。心ある人の集まりだ。思いのない人なんていない」との言葉に勇気百倍！

浅霧講師の講演のあと、富永さんから鉛筆の寄付がありました。今回は、熊本とエクアドルに送ります。何か災害が起こった時に動くのではなく、普段からコツコツと地道に鉛筆を集めている富永さんの実践力に、一同心から賞讃しました。また“心の絆大作戦・ハンカチプロジェクト”の実践を瀧川さんより皆さんに呼びかけました。水上鞠子大先輩を長としたこのプロジェクト。5年経っても東北被災者には、まだまだ私たちの支援が必要です。希望に寄り添い負けない心、励ましの“心の復興”の後押しの活動です。心の絆を繋げるハンカチプロジェクトを一人でも多くの人に賛同いただけるよう呼びかけて参りましょう。

今回の櫻華塾から約3週間後の7月10日は、18歳まで参政権が認められて初めての選挙があります。本年4月に成立した改正公選法では「共通投票所」の設置も可能になりました。「移動期日前投票所」を導入した島根県浜田市では交通手段の乏しい高齢者を対象に山間部を巡回するワゴン車で参院選の期日前投票を実施。これは全国初の取り組みです。

大槻会長がまとめたとても分かりやすい資料をいただくことができました。

櫻華塾では常に、探求心を持って学ぶ姿勢を教わっております。

「心を開き」時代をリードする。—その心意気を忘れず“探求心の道”を実践して参ります。

石田理事長の「18歳からの投票心得10カ条」も出版されています。皆様ぜひ投票前にお読みください。



編集・文責：大槻、小山、瀧川